

多言語メニュー作成支援ウェブサイト構築に関する メニュー翻訳スタイルガイド

書体ルール：原則、The Chicago Manual of Style に従います。

指針：メニューに掲載される事でスペースが制限されている事、またインターフェースを考慮し、下記の通り出来るだけ簡潔、かつ訪日観光客を混乱させずどんな料理か最低限理解出来る翻訳をいたします。

(直訳出来るメニュー名は、一番わかりやすく意味を正確に表現する訳を選択。場合によっては出来るだけ簡単な説明を加えます。)

1. 広く知られている、もしくは英語として普及している日本語は、そのままアルファベットで記載 sushi, miso, tempura など。
2. (英語として普及はしていないが) 直訳可能である単語は、そのまま直訳にて英訳 とんかつ-pork cutlet.
3. 直訳すると全く意味が理解出来ない場合はアルファベット化し、簡単な説明を追加する。
トン汁-tonjiru (miso soup with pork and vegetables)

例：赤飯

Sekihan-festive rice cooked with red azuki beans.

以上

<スタイルガイドを特別に持たない言語に対する対応について>

(ドイツ・フランス・イタリア・スペイン・タイ・インドネシア・ベトナム・アラビア語)

◆基本的には、英語に適用されている翻訳スタイルガイド・ルールに沿って翻訳を行う。

◆固有名詞に対する対応

1. 広く知られている、もしくは該当言語として普及している（該当の言語でもそのまま使われている）日本語は、そのまま該当言語の表記で記載。

2. （該当言語として普及はしていないが）メニュー自体広く知られているもの、直訳可能であるメニューは、そのまま直訳にて該当言語訳。

3. 直訳すると全く意味が理解出来ない場合は音を当てて該当言語の文字で表記し、簡単な説明を追加する。

※分解できない固有名詞（商品名）や地名や国名が入ったメニューに対する対応について

例：

アメリカンコーヒー Weakish coffee

イタリアン・ドレッシング Italian dressing

大分県関サバ mackerel from Seki, Oita prefecture

瀬祭 Dassai

マンハッタン Manhattan

となります。

上記のような固有名詞部分はそのままの音をあてた翻訳を適用。

韓国語メニュー翻訳スタイルガイド

指針：メニューに掲載される事でスペースが制限されている事、またインターフェースを考慮し、下記の通り出来るだけ簡潔、かつ訪日観光客を混乱させず、どんな料理か最低限理解出来る翻訳をいたします。

(直訳出来るメニュー名は、一番わかりやすく意味を正確に表現する訳を選択。場合によっては出来るだけ簡単な説明を加えます。)

1. 広く知られている、もしくは韓国語として普及している（韓国語でもそのまま使われている）日本語は、そのままハングルで記載。とんかつ - 돈까스など。
2. （韓国語として普及はしていないが）メニュー自体広く知られているもの、直訳可能であるメニューは、そのまま直訳にて韓国語訳。sushi - 초밥, miso - 미소된장, tempura - 튀김など。
3. 直訳すると全く意味が理解出来ない場合は音を当ててハングル化し、簡単な説明を追加する。トン汁 - 돈지루 (돼지고기 야채된장국) など。

中国語（簡体字）メニュー翻訳スタイルガイド

指針：メニューに掲載される事でスペースが制限されている事、またインターフェースを考慮し、下記の通り出来るだけ簡潔、かつ訪日観光客を混乱させず、どんな料理か最低限理解出来る翻訳をいたします。

（直訳出来るメニュー名は、一番わかりやすく意味を正確に表現する訳を選択。場合によっては出来るだけ簡単な説明を加えます。）

1. 中国語ですでに広く知られている訳があればそれを採用。寿司 - 寿司、みそ汁 - 味噌湯、天ぷら - 天妇罗など。
2. 中国語として普及していない場合はネット検索し、1番多く出てきたメニュー単語を採用。（漢字が含まれていれば簡体字に変換してから検索。カタカナの場合はアルファベット化して検索。）とんかつ-炸猪排、和風サラダ-和风沙拉、おにぎり-饭团など。
3. （ネット検索では見つからないが）直訳可能である単語は、メインの食材が分かりやすい中国語に翻訳する。その際、出来るだけ写真を確認し、なるべく短いメニュー語にする。（理想は中国料理と同じ4文字程度）お新香 - 日式腌泡菜、お子様ランチ - 儿童午餐、豚汁 - 猪肉酱汤など。
4. （ネット検索では見つからず）直訳すると全く意味が理解出来ない場合は、ただ食材を説明するのではなく、写真や作り方、材料を確認してヒント程度のメニュー語を自作し、簡単な説明や食材を追加する。

中国語（繁体字）メニュー翻訳スタイルガイド

指針：メニューに掲載される事でスペースが制限されている事、またインターフェースを考慮し、下記の通り出来るだけ簡潔、かつ訪日観光客を混乱させず、どんな料理か最低限理解出来る翻訳をいたします。

（直訳出来るメニュー名は、一番わかりやすく意味を正確に表現する訳を選択。場合によっては出来るだけ簡単な説明を加えます。）

1. 中国語ですでに広く知られている訳があればそれを採用。寿司 - 壽司、みそ汁 - 味噌湯、天ぷら - 天婦羅など。
2. 中国語として普及していない場合はネット検索し、1番多く出てきたメニュー単語を採用。（漢字が含まれていれば繁体字に変換してから検索。カタカナの場合はアルファベット化して検索。）とんかつ-日式炸猪排、和風サラダ-和風沙拉、おにぎり-御飯團など。
3. （ネット検索では見つからないが）直訳可能である単語は、メインの食材が分かりやすい中国語に翻訳する。その際、出来るだけ写真を確認し、なるべく短いメニュー語にする。（理想は中国料理と同じ4文字程度）お新香 - 日式醃漬物、お子様ランチ - 兒童套餐、豚汁 - 猪肉味噌湯など。
4. （ネット検索では見つからず）直訳すると全く意味が理解出来ない場合は、写真や作り方、材料を確認してメニュー語を自作し、簡単な説明や食材を追加する。